

まちのアルバム

永年活動功労者表彰

▼1月13日 市役所

野洲市介護相談員の青木雅子さん、齋木久子さんが「介護サービス相談・地域づくり連絡会」から永年活動功労者として表彰されましたので、市から表彰状をお渡ししました。

青木さんは、平成16年1月から、齋木さんは、平成18年1月から介護相談員として長きにわたり活動いただいています。

これからも、介護サービスの利用者と介護サービスを提供する事業者との橋渡し役として、利用者の疑問や不満・不安の解消を図りつつ、サービスの質の向上にご尽力いただきますようお願い申し上げます。



◀青木雅子さん



齋木久子さん▶



歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

(210)

歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

源頼朝と平宗盛にまつわる池の伝説

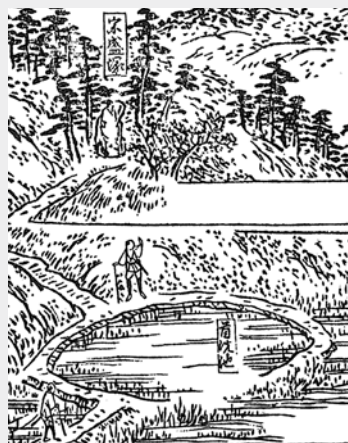
—伝承と地域の歴史②—

鎌倉幕府の歴史書『吾妻鏡』には、平氏の棟梁である平宗盛が源氏との戦いに敗れて元暦2(1185)年に近江国篠原宿(野洲市大篠原)で斬首とあります。また、江戸時代の文化2(1805)年刊行の観光案内書『木曾路名所図会』には、その首を洗った池の蛙が鳴かなくなったことから、「蛙不鳴池」と呼ばれるようになったと紹介されています。

しかし、享保19(1734)年に成立した地誌『近江輿地志略』では、この池には兵主大社(野洲市五条)の祭神である兵主神が日ごと3度ずつ現れるが、帰る姿を見られないことから、「不帰池」と呼ばれるようになったとあります。さらに、平治の乱で敗れた源頼朝が東国に落ち延びる際、不帰池周辺で馬が進まなくなり、兵主神が現れたので神社の方向を拝み、武運を祈ったとあります。

同じ池でも頼朝と宗盛にまつわる伝説があり、野洲の歴史・文化の豊かさを感じることができるのではないのでしょうか。

下記のテーマ展では、これらの伝説とそれを語り継いできた地域の歴史と文化を紹介しています。ぜひ、ご観覧ください。(博物館学芸員 齊藤慶一)



『木曾路名所図会』
(一部拡大)
文化2(1805)年
宗盛塚と首洗池
(蛙不鳴池)を紹介

■テーマ展「近江国野洲の祇王・頼朝・宗盛伝説 —伝承と地域史—」

開催中～3月13日(日) 午前9時～午後5時

※期間中の休館日：月曜日

※市民は入館無料

(運転免許証やげんきカードをご提示ください。)

※市ホームページ等で事前に開館状況をご確認の上、ご来館ください。